

平成 28 年度

都市整備部の運営方針

<部の構成>

都市計画課、都市整備推進室まちづくり推進課、都市整備推進室
景観住宅整備課、連続立体交差推進室、施設整備室、開発指導室
開発調整課、開発指導室開発審査課、開発指導室建築安全課

<担当事務>

- (1) 都市政策に関すること。
- (2) 市街地整備に関すること。
- (3) 都市景観に関すること。
- (4) 京阪本線連続立体交差事業に関すること。
- (5) 市有建築物（学校園施設を除く。）の新設・改良等の計画・
設計・施行に関すること。
- (6) 総合文化施設建設事業の実施及び調整に関すること。
- (7) 開発事業等に係る協議及び指導に関すること。
- (8) 開発許可及び建築確認の審査に関すること。
- (9) 建築物の維持管理、防災等の指導に関すること。

<部の職員数>H28年4月1日現在

正職員	114名
再任用職員	10名
任期付職員	2名
非常勤職員	7名
合計	133名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

1. 基本方針

都市整備部は、人が集まるまちづくりを推進するため、市民が安心・安全で快適に暮らせる都市構造となるよう、まちづくりの計画・規制・誘導を行うとともに、都市基盤の整備や市有建築物の整備・改修等を進めています。

平成28年度は、本市の中心市街地である枚方市駅周辺の魅力あるまちづくりを一体的、かつ、できる限り早期に進めるとともに、まちの活性化につながる鉄道の高架化を計画的に進め、枚方市駅以南における鉄道沿線の交通環境の改善を図ります。

さらに、少子高齢化、人口減少の進展に対応するため、概ね20年から30年後の市全域の将来都市像を見通したまちづくり計画を策定するとともに、定住促進につながる住宅施策に着手します。

また、開発行為や建築行為などの規制・誘導、良好な景観形成、住宅の耐震化の促進や、市有建築物の計画的な改修、更新工事に取り組みます。

2. 重点施策・事業

(1) 枚方市駅周辺再整備の推進

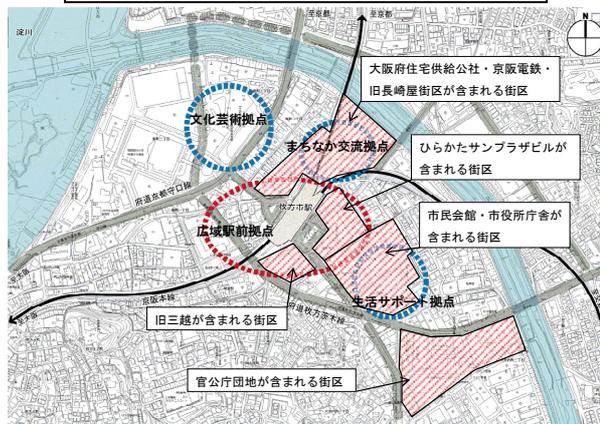
重点施策・事業 における目標

本市の中心市街地である枚方市駅周辺地域の賑わいを取り戻し、まちの魅力を高めるため、枚方市駅周辺再整備の早期実現化に向けた取り組みを進めます。

**平成 28 年度の
取り組み**

枚方市駅周辺再整備の早期実現化に向け、地元権利者や関係機関とともに協議・検討してきた内容をもとに、「枚方市駅周辺の将来のまちの姿」のイメージ図を公表し、市民会館・市役所庁舎が含まれる街区及びその周辺区域について、民間活力導入を検討するための検討パートナーを公募し、具体的な検討に取り組みます。また、大阪府住宅供給公社・京阪電鉄・旧長崎屋が含まれる街区及び官公庁団地が含まれる街区については、これまで検討を行ってきた内容を踏まえ、市街地再開発事業の事業化に向けた検討を進めます。その他街区については、引き続き地元検討組織等への技術的支援を行います。

枚方市駅周辺再整備の取り組み箇所図

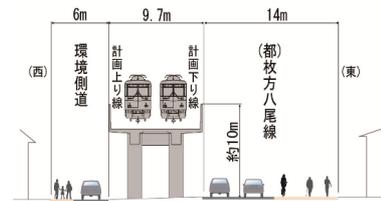


平成 28 年度当初予算：29,800 千円

(2) 京阪本線連続立体交差事業

**重点施策・事業
における目標**

枚方公園駅付近から香里園駅付近(寝屋川市)までの延長約 5.5 キロメートル(うち枚方市域約 3.4 キロメートル)の鉄道高架の完成目標を平成 40 年度とし、平成 31 年度から鉄道高架工事に着手できるよう事業用地の取得について、専門的ノウハウを有する民間機関を活用しながら引き続き取り組んでいきます。



**平成 28 年度の
取り組み**

京阪本線連続立体交差事業の用地取得業務に加え、光善寺駅周辺のまちづくり事業に向けた市街地再開発事業調査を開始し、駅前にふさわしいまちづくりの実現をめざします。

平成 28 年度当初予算：3,527,083 千円

(3) 都市計画マスタープランの改正及び立地適正化計画の作成

重点施策・事業 における目標	少子高齢化、人口減少の進展に対応し、持続可能な都市づくりを進めるため、将来の都市像を示す都市計画マスタープランを改定するとともに、住宅や都市機能の適正な立地の誘導を図るため、立地適正化計画を平成 28 年度末に策定します。
平成 28 年度の 取り組み	両計画の素案について、説明会や公聴会など市民意見を聴く場を設けたうえで、本市都市計画審議会に諮るなどの手続きを進め、平成 28 年度末に策定します。
	平成 28 年度当初予算：22,000 千円

(4) 三世代家族の定住を促進

重点施策・事業 における目標	少子高齢化・人口減少が進む中、市内在住の親世帯と子育て世帯や若年夫婦世帯が同居・近居するために住宅をリフォームまたは購入することに対して助成し、若年世代の市内転入及び定住を促進します。さらに、マイホーム借上げ制度の周知・普及により、高齢者の持ち家を子育て世帯等へ転貸することで空き家化を防ぎ、若年世代の市内転入を促進します。
平成 28 年度の 取り組み	補助の要件等を整理のうえ、同居のために持ち家をリフォームする費用に対して 1/2 以内で最大 30 万円、または同居・近居のための住宅取得費用に対して最大 30 万円を補助します。また、高齢者世帯や子育て世帯等が、それぞれの世帯にあった住宅への住みかえを支援するため、関係機関等との連携により、マイホーム借上げ制度の周知・普及に努めます。
	平成 28 年度当初予算：12,180 千円

(5) 総合文化施設の整備

重点施策・事業 における目標	文化芸術活動の新たな拠点となる総合文化施設について、プロポーザル（技術提案）により選定した設計事業者と連携し設計を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	設計業務について、基本設計を取りまとめ、実施設計に着手します。
	平成 28 年度当初予算：100,000 千円

(6) 公共施設の整備・保全

重点施策・事業 における目標	枚方保育所や枚方消防署中宮出張所の建替えをはじめ、新児童発達支援センターなどの整備を着実に進めるとともに、市有建築物を適正に維持保全するため、計画的に改修・更新工事を進めます。
-------------------	--

**平成 28 年度の
取り組み**

枚方保育所については、仮園舎の完成後に新たな園舎の建設に着手します。
また、枚方消防署中宮出張所については、新たな同出張所の建設を進め年度内の完成をめざします。さらに新児童発達支援センターの整備に向けて設計業務に着手します。

市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき、財政負担の平準化を図りながら、計画的に改修・更新工事を進めます。

平成 28 年度当初予算：1,370,652 千円（消防予算を含む。）

3. 行政改革・業務改善

（1）新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	枚方市街地開発株式会社について、平成 26 年 10 月に策定した経営プランが着実に推進されるよう進捗管理を行う。
29. 市有建築物の効率的・効果的な改修・更新工事	市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づく改修・更新工事について、「ESCO 事業」の導入を検討するなど、民間活力を活用しながら効率的・効果的に進める。

（2）業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
迅速・効率的な窓口運営	窓口で縦覧に供している都市計画図書について、タッチパネル形式を用いた窓口システムを導入することで、市民の利便性の向上と職員の負担軽減を図る。

4. 予算編成・執行

- ◆枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業や連続立体交差事業関連まちづくり事業に国庫補助制度の積極的な活用を図ります。（国庫補助予定額 680 万円）
- ◆京阪本線連続立体交差事業の用地取得を迅速かつ円滑に進めるため、平成 28 年度の用地取得業務を引き続き民間機関を活用しながら進めます。（予算額 2 億 2000 万円）
- ◆公共施設の整備・保全にあたっては、品質の向上とコストの低減をファシリティマネジメントの視点で取り組み、効果的な予算執行に努めます。

5. 組織運営・人材育成

- ◆機構改革により部の担当事務が増加したことや、新規配属職員の部の業務内容の理解を深めるため、各課の業務内容をテーマに研修を行い、部内の相互理解を深め、職員の資質向上に努めます。
- ◆京阪本線連続立体交差事業及び関連するまちづくりについては、関係者に対し職員・民間委託業者双方が満足度の高い説明、対応ができるよう、職員の資質向上、取り組みの進捗管理の徹底に努めます。
- ◆開発指導、建築指導行政及び各種事業に係わる関連協議会や講習会に積極的に参加し、担当職員の資質向上に努めます。
- ◆災害時において二次災害を防止するため、建築物や宅地の安全確認を行う危険度判定士や被災建築物応急危険度判定コーディネーターの資格取得者の増員を図ります。
- ◆住宅施策等に関し、国・府・公社・UR等、様々な関係機関との連携が必要であるため、情報の共有化や意見調整を図るなど、効果的・効率的な業務執行を行います。

6. 広報・情報発信

- ◆枚方宿地区まちづくり協議会主催の活動やイベントについて、枚方宿のにぎわいづくりに資するようホームページや広報を活用し、市民への情報発信に努めます。
- ◆屋外広告物の新たな規制・誘導基準について、関連団体等へ広く周知すると共に普及啓発に努めます。
- ◆公開対象となっている会議録や計画策定に関する情報については、随時ホームページ等を活用した情報発信に努め、きめ細かな行政サービスに取り組んでいきます。